

平成 22 年度 社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

地域においては、社会的不安の高まりなど、生活課題等が増加し、社会福祉協議会の果たすべき役割は益々高度化、多様化、専門化しており、これまで以上に正面からこれらの課題に取り組む必要があります。

- 1 地区社会福祉協議会や福祉推進委員を中心に、誰もが安心・安全で豊かな自立生活を送れるような自立生活支援システムの構築を進めるとともに、災害時においても共に支えあうことのできる地域の福祉力の形成を様々な福祉活動及び事業をとおして支えあえる地域づくりの応援・支援策を強化します。
- 2 小地域につながる『福祉共育<教育>』や『市民（住民）参加による豊かな支えあいのできる地域づくり』を目指し、ボランティア・市民活動事業を推進します。
- 3 市全体と4層・5層を中心とした機能に分けて明確化することで、より効果的に事業を推進すると同時に、常に社会福祉協議会として福祉ニーズに基づき先駆的な取り組みをより身近な地域で『地域福祉の推進』に向けて『事業の総合化』を行っていきます。
- 4 介護保険・医療保険制度等の改正が見込まれており、特に障害者施策は自立支援法廃止を含めた大幅な法改正が予定されています。
家族の介護力低下が深刻な問題になっている中、要援護老人や障害者の方々が生家で少しでも長く生活できるように社会福祉協議会として、フォーマルとインフォーマルな福祉サービスを総合的に展開し、利用者本位の市民生活を支援します。
- 5 市民と社協・行政・関係機関が協力して地域福祉を推進するための長期的な指針や方向性、目標到達点を定めるため第2次福祉21ビーンズプランに基づき社協の強化発展計画を策定します。

【事業計画の概要】

I 総務・企画係

職員としての意識の向上に努めると共に、社協体制の充実、企画立案や情報の共有ができる体制づくりをし、社協強化発展計画の策定に取り組みより効率的な社協運営を図ります。また、住民からの相談やニーズを的確に受け止め、日常生活自立支援事業及び相談事業等を実施し安心して生活できるよう総合的に支援・応援する体制づくりを行なっていきます。

- 1 庶務
 - (1) 会計業務（一般会計経理事務、予算・決算等）
 - (2) 補助金申請、助成金交付事務
 - (3) 管理業務（車両・システム・保険）
- 2 基盤整備
 - (1) 効率的な法人運営のための調査・研究
 - (2) 定款・諸規定の見直し及び整備
 - (3) 経理業務の調査・研究

- 3 役員会などの充実
 - (1) 理事会・評議員会機能の充実
 - (2) 経営委員会機能の充実
 - (3) 役員の資質向上のための研修
- 4 事務局体制の整備
 - (1) 職員の福利厚生、カウンセリングの実施
 - (2) 職員の資質向上のための各種研修 300千円(300千円)
 - (3) 職員の防災訓練の実施
 - (4) 職員間の情報の共有化
- 5 茅野市社会福祉協議会の総合的な防災マニュアルの策定
- 6 茅野市社会福祉協議会強化発展計画の策定
- 7 日常生活自立支援事業 1,809千円(1,591千円)
- 8 総合相談事業 646千円(754千円)
 - (1) 心配ごと相談
 - (2) 結婚相談
 - (3) 司法書士の法律相談
 - (4) あなたと家族の悩み相談(遺族の悩み相談)
- 9 貸付事業(暮らしのつなぎ資金 1,380千円(1,380千円) 生活福祉資金 610千円(470千円))
- 10 自主財源の確保(会費・社協運営基金等の充実など)
- 11 表彰審査委員会の開催
- 12 茅野市社会福祉大会の開催 558千円(563千円)
- 13 社協情報紙「やらざあ」の発行 1,704千円(1,740千円)
- 14 ホームヘルパー2級養成講座の開催
- 15 茅野市戦没者等合同追悼式の開催 370千円(402千円)
- 16 茅野市民生児童委員協議会との連携・協働
- 17 諏訪ブロック社会福祉協議会との連携・協働(当番 茅野市社協)
- 18 茅野市高齢者クラブ連合会(事務局)
- 19 茅野市生活改善推進委員会(事務局)
- 20 その他各種福祉団体との連携・協働

II 地域生活支援係

生活問題の早期発見や潜在的なニーズの把握を積極的に行い、生活のしづらさを抱えた個人やその家族を支援します。支援にあたっては保健福祉サービスセンター等の関係機関と最大限の連携を図ると共に、近隣住民をはじめとした地域住民の支えあいやネットワークづくりを進めます。また、そのための基盤となる小地域での福祉活動を推進するため、地区コミュニティセンターと連携し、福祉推進委員の育成支援や地区社協活動を積極的に支援していきます。特に福祉推進委員の支援では、各小地域の実情を把握し、それぞれの行政区・自治会に適した支援方策の確立に努めます。

- 1 地域自立生活支援事業の充実 37,916千円(26,926千円)
住民の暮らしを直接支援するためのサービスを提供すると共に、関係機関、団体、事業者、地域住民等のネットワークにより、暮らし全般を支える体制を整えます。
 - (1) 個別訪問支援活動
独居高齢者世帯などを家庭訪問し、日常生活での困りごとなど様々な相談に応

じます。

- (2) 安心生活創造事業 9,084千円(新規事業:人件費含む)
買い物や見守りなどのニーズを把握し、支援できる体制作りを進めます。
- (3) 外出支援事業(移送サービス) 8,114千円(6,655千円)
心身が不自由なため公共交通機関を一人では利用できない方を対象に送迎サービスを実施します。
- (4) 配食サービス事業(おたっしや弁当) 5,041千円(4,583千円)
独居高齢者などで食事作りが困難な方を対象に、昼食を毎日お届けします。
- (5) 独り暮らし安心コール事業 260千円(260千円)
独居高齢者で定期的に電話での安否確認やおしゃべりを希望される方に、協力員から電話をお掛けします。
- (6) 介護予防通所事業(塩つぼの湯デイサービス) 14,877千円(14,828千円)
閉じこもりや身体の機能低下を予防するために、市の特定高齢者の認定を受けられた方を対象にデイサービスを実施します。
- (7) 家庭介護者交流事業(いこいの集い) 540千円(600千円)
会食や入浴、お互いの情報交換などの機会を通じて、介護者の方が心身をリフレッシュし、明日への活力を蓄えていただける場を提供します。

- 2 小地域福祉活動の推進 2,440千円(3,183千円)
地域住民がお互い様の心で支えあうことができる地域づくりを目指して、福祉意識の醸成と住民が地域活動に気軽に参加できる仕組みづくりを進めます。
 - (1) 地区社会福祉協議会と福祉推進委員の活動支援に関する事業
 - ① 地区社協の事務局として、役員会などの地区社協運営を積極的に支援すると共に各事業に協力・支援します。
 - ② 各行政区・自治会の支えあいマップづくりをはじめ、福祉推進委員活動全般を支援します。
 - ③ 地域ごとの地区福祉行動計画推進の支援をします。
 - (2) 小地域ネットワークづくり事業
 - ① 生活課題を抱えた方が地域で安心して暮らし続けられるよう、近隣はじめ地域住民が手助けできる働きかけと環境整備を進めます。
 - ② ご用聞き訪問活動事業
独居高齢者を対象に、年4回のお便りを通じて様々な情報を提供すると共に、担当職員との関係作りを進めます。
 - (3) ふれあいサポーター養成事業
ふれあいサポーターとして登録していただいた方々が、地域の福祉活動に参加できる仕組みづくりを行います。
 - (4) 共同募金運動の推進
長野県共同募金会茅野市支会の事務局として、共同募金活動を推進します。
 - (5) 共同募金配分金による地域福祉活動の活性化
各地域で共同募金が有効に活用されるよう、様々な働きかけを行います。

Ⅲ 在宅福祉係

介護保険・障害者自立支援制度の事業を中心に行います。

効率的な事業運営はもとより高齢者・障害者の自立生活支援のために、職員資質のレベルアップを図り、より良いサービス向上に努めます。

社協が運営している事業所として、各保健福祉サービスセンター及び地域生活支援係等との連携協力をさらに密にし、多問題ケースへの対応にも積極的に協力して市民生活向上につながる在宅事業を推進します。

- 1 介護保険事業 181,385千円(183,802千円)
 - (1) 居宅介護支援事業所
介護予防支援(受託)
 - (2) 訪問介護事業所(東部・西部)
介護予防訪問介護
ふれあい保健福祉事業(受託)
 - (3) 通所介護事業(西部デイサービスセンター)
介護予防通所介護
ふれあい保健福祉事業(受託)

- 2 障害福祉サービス事業(居宅介護・重度訪問介護・移動支援)の実施

- 3 地域活動支援センターの運営 21,518千円(21,177千円)

あすなろセンター[1部 身体障害者 2部 知的障害者]

IV ボランティア・市民活動センター

今年度のテーマを『希望は、市民《わたくしたち》がつくる』として、4層・5層にもつながる『福祉共育(教育)』や『市民(住民)参加による豊かな支えあいのできる地域づくり』を目指し、活動や事業を推進・支援、企画・実施していきます。

- 1 地域福祉活動の推進・支援
 - (1) 地域福祉の切り札!として、“いきいきサロン”活動の推進・支援
 - ①いきいきサロン茅野市サミット』開催
《地区ボランティア・コーディネーター連絡会共催》
講演会:～いきいきサロンの意義と役割～&福祉レクリエーション 84千円(66千円)
 - (2) 地域のボランティア・グループ活動や地区社協活動(福祉コミュニティづくり)への支援や協働
 - ①地区ボランティアコーディネーター連絡会の開催・協働 166千円(161千円)
 - (3) シャララほっとサービス事業の推進(住民参加型福祉サービス)
 - ①シャララ・ほっとサービス運営委員会の開催 1,215千円(1,387千円)
2. 家庭・学校・地域における福祉共育(教育)・学習の推進・支援
 - (1) 学校・地域等における出前福祉教室・講座の開催 201千円(145千円)
 - (2) 福祉教育実践者研修会&連絡会の開催(年2回開催) 84千円(116千円)
 - (3) 社会福祉普及校指定事業の実施&支援
 - (4) サマーチャレンジ(ボランティア体験)事業の実施 9千円(38千円)
 - (5) シャララカレッジ～地域で共に生きるセミナー 開催 32千円(32千円)
 - (6) ニーズに即した福祉講座の開催や事業の実施
 - ①まちの縁側づくり研修会 225千円(254千円)

- ②傾聴ボランティア養成講座&ステップアップ講座 111千円(92千円)
3. ボランティア・市民活動の推進・支援、
- (1) ボランティア・市民活動の推進拠点、センター機能の整備・充実
- ①相談・登録・コーディネート機能の充実
- ②ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催 180千円(72千円)
- ③会議室・福祉用具・器具等の貸し出し など
- ④ボランティア保険などの加入促進
- (2) ボランティア活動者や関心のある市民一人ひとりへの応援・支援
- (3) 多様なボランティア・市民団体や個人、企業等との連携・協働・プラットフォーム機能の促進や支援
- (4) ボランティア・市民活動に関する情報収集、広報・啓発活動の強化・充実
- ① ボランティア・市民活動センター情報紙『たまご』の発行
1,967千円(1,966千円)
- ② ボランティア・市民活動センター掲示板の有効活用
- ③ 研修会 ～がっちり広報力アップ～ 開催 130千円(62千円)
- (5) ふれ愛フェスティバル(ボランティアの集い)の開催
《実行委員会共催》331千円(329千円)
- (6) 災害に強いまちづくり〈市民ができる防災〉
- ① “命を守る” “家内安全” としての『家具止め』等の、啓発活動
- ②災害救援ボランティアセンター機能の強化・拡充
- ③災害救援ボランティアセンター立ち上げ運営訓練&研修会 88千円(75千円)
(茅野レスキューネット、ボランティア連絡協議会などと協働)
- (7) 茅野市ボランティア連絡協議会、ボランティア市民団体等との連携・協働
150千円(150千円)
4. ボランティア活動運営事業の推進 2,000千円(2,000千円)
- (1) ボランティアセンター活動積立金助成事業の実施
5. 共に生きる(エンパワメント支援)
- 希望の旅(日帰り)事業の実施 423千円(607千円)
6. どっこいしょ広場の運営 306千円(380千円)